

株式会社 構造ソフト

今月のイチオシ

2023年6月号

拡張情報

「BUILD.壁式V」(Ver.1.40) …P1

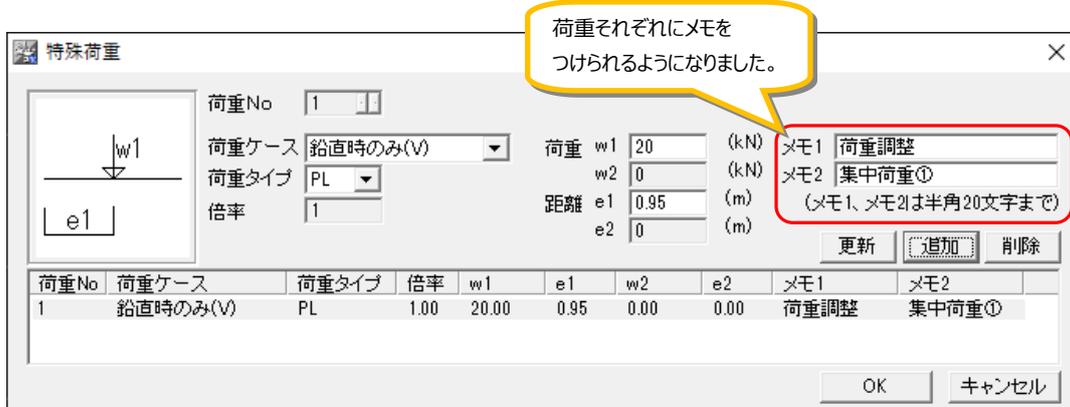
Q&A (適判等からの指摘事例)

「BUILD.一貫VI」Q&A …P5

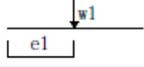
◆「BUILD.壁式V」(Ver.1.40)

・特殊荷重を入力する時に荷重用途などのメモを入力に対応

2023年3月にリリースした「BUILD.壁式V」(Ver.1.40)より、特殊荷重を入力する時に荷重用途などのメモを入力できるようになりました。入力したメモは計算書の「特殊荷重表」で荷重図などと一緒に出力しますので、計算書を確認する際に荷重入力の意図を把握しやすくなりました。

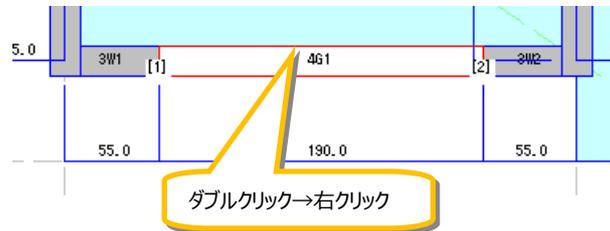


§8.2.4. 特殊荷重表

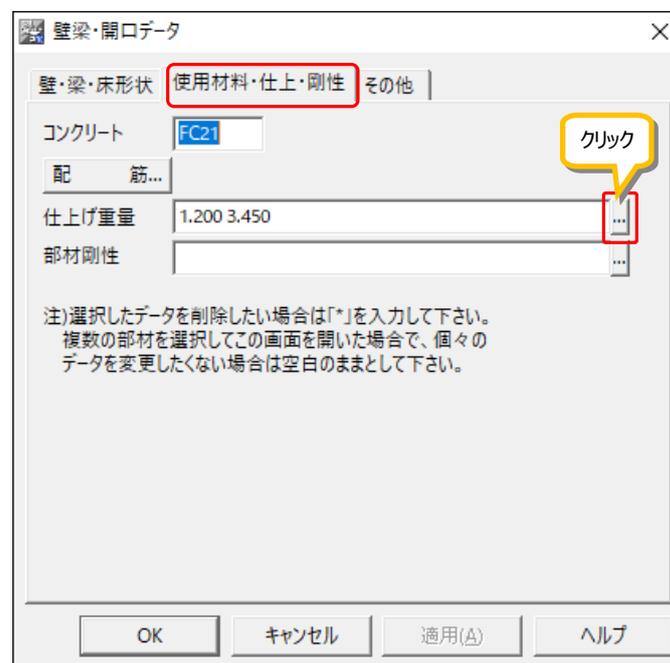
符号・(部材長)	荷重ケース・メモ	荷重タイプ	倍率	荷重図	荷重・距離
4G1 (1.90 m)	鉛直時のみ(V) 荷重調整 集中荷重①	PL	1.00		w1 = 20.00 kN e1 = 0.95 m
3W2, 3W1 (0.55 m)	鉛直地震時共(VF) パラベット	WL	1.00		w1 = 5.00 kN/m e1 = 0.00 m w2 = 5.00 kN/m e2 = 1.90 m
	鉛直地震時共(VF) パラベット	WL	1.00		w1 = 5.00 kN/m e1 = 0.00 m w2 = 5.00 kN/m e2 = 0.55 m

・特殊荷重のメモを入力する方法

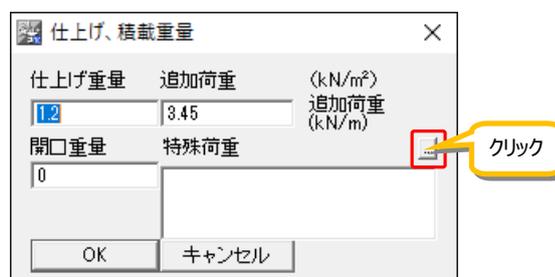
1. 特殊荷重を入力する部材をダブルクリックで選択した後、右クリックして、部材データ画面を表示します。



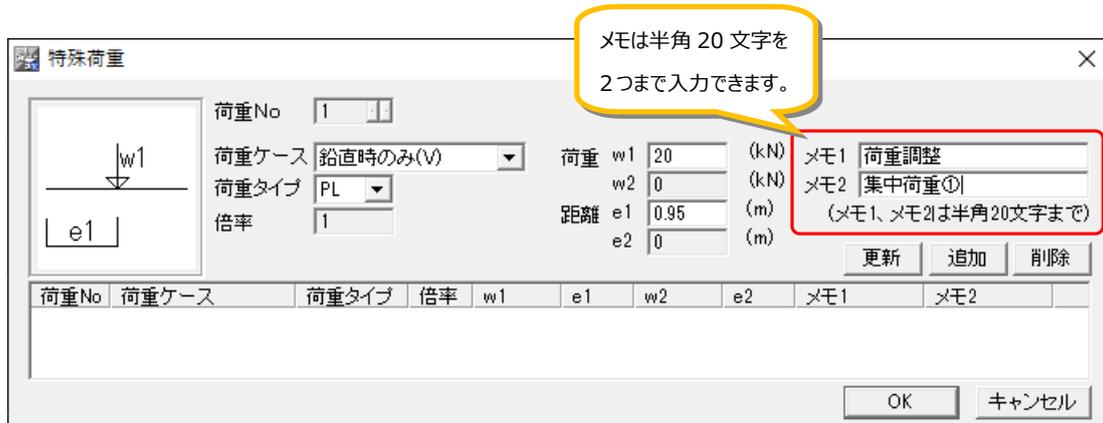
2. 部材データ画面で[使用材料・仕上・剛性]タブに移動し、「仕上げ重量」の横の「…」ボタンを押します。



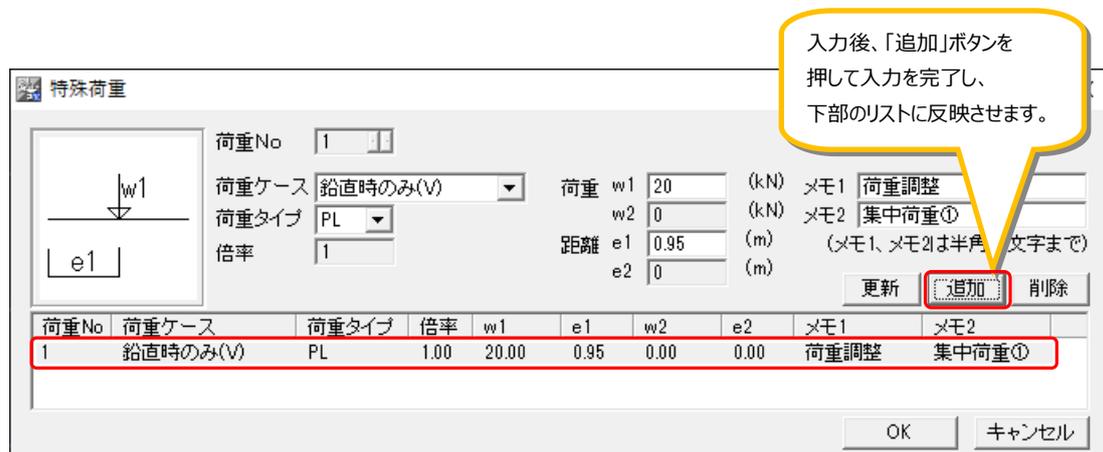
3. 仕上げ、積載重量画面で「特殊荷重」の横の「…」ボタンを押します。



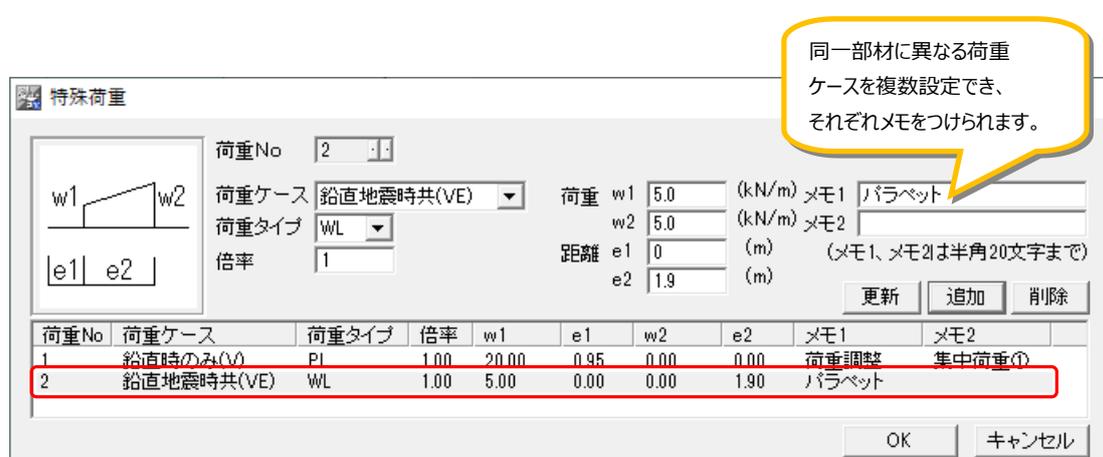
4. 特殊荷重画面で、荷重ケースや荷重の大きさなどを入力する際、メモを一緒に入力します。



5. 入力後は「追加」ボタンを押して入力を完了すると、下部のリストに入力内容が反映されます。

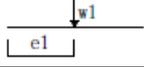
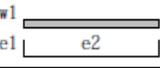


6. 同様の手順で同一部材に異なる荷重ケースを複数設定する際も、別々にメモを入力できます。



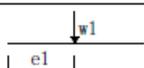
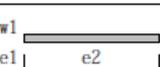
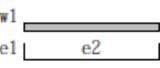
7. 特殊荷重の入力完了後は、「OK」ボタンを押して画面を閉じ、計算実行します。
8. 計算実行が終わると、入力したメモは計算書の「特殊荷重表」で荷重図などと一緒に出力します。メモ 1、メモ 2 の入力がある場合は、2 段でメモを出力します。

§ 8.2.4. 特殊荷重表

符号・(部材長)	荷重ケース・メモ	荷重タイプ	倍率	荷重図	荷重・距離
4G1 (1.90 m)	鉛直時のみ(V) 荷重調整 集中荷重①	PL	1.00		w1 = 20.00 kN e1 = 0.95 m
	鉛直地震時共(VE) パラベット	WL	1.00		w1 = 5.00 kN/m e1 = 0.00 m w2 = 5.00 kN/m e2 = 1.90 m

※ 「特殊荷重表」では、部材長と荷重の入力が全く同じ部材がある場合は、符号を並べて自動的にまとめて出力します。

§ 8.2.4. 特殊荷重表

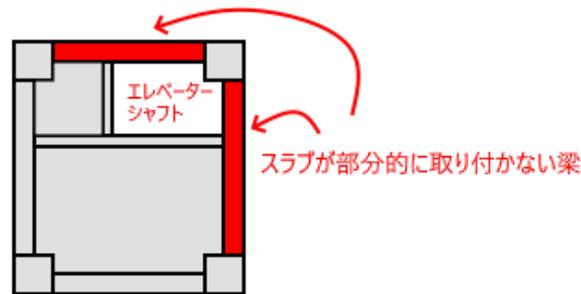
符号・(部材長)	荷重ケース・メモ	荷重タイプ	倍率	荷重図	荷重・距離
4G1 (1.90 m)	鉛直時のみ(V) 荷重調整 集中荷重①	PL	1.00		w1 = 20.00 kN e1 = 0.95 m
	鉛直地震時共(VE) パラベット	WL	1.00		w1 = 5.00 kN/m e1 = 0.00 m w2 = 5.00 kN/m e2 = 1.90 m
3W2 3W1 (0.55 m)	鉛直地震時共(VE) パラベット	WL	1.00		w1 = 5.00 kN/m e1 = 0.00 m w2 = 5.00 kN/m e2 = 0.55 m

部材長と荷重の入力が全く同じ部材がある場合、自動的にまとめられます。

◆「BUILD.一貫VI」Q&A (適判等からの指摘事例)

タイトル : スラブが部分的に取り付かない RC 梁で、スラブによる剛性増大率を 1.0 としているか指摘された

Q. 適合性判定機関より、RC造の物件のエレベーターシャフト等でスラブが部分的に取り付かない梁に関して、計算書の「梁の部材剛性表」で曲げ剛性増大率 ϕ_b に 1.0 を超えた値が出力されていますが、スラブによる剛性増大率は 1.0 としていますか？と指摘を受けました。どのように説明すればよいでしょうか？



A. スラブが部分的に取り付かない RC 梁については、自動でスラブによる剛性増大率を 1.0 と設定しているので問題ありません。(スラブ厚がゼロのスラブが部分的に取りついている場合も同様です。)

計算書の「梁の部材剛性表」の曲げ剛性増大率 ϕ_b には、壁とスラブの剛性増大率を加算した値を出力していますので、1.0 を超えた値が出力される理由は、鉄筋による剛性増大率あるいはコシ・タレ壁による剛性増大率が計算されたためです。

※ [弊社ホームページの Q&A](#) では、この他にも、適判定等からの指摘事例の Q&A を約 290 件、通常の Q&A を 3790 件以上掲載していますので、ご活用ください。なお、Q&A の閲覧は、[トータルメンテナンス](#)を契約中のお客様限定となります。